

CLOSE UP!



徳島県の糖尿病問題を改善したい! 知的クラスター創成事業で取り組み開始

～知的クラスターとは～

特定の技術領域に特化し、地域の知的創造の拠点たる大学、公的研究機関などを核とし、関連研究機関、研究開発型企業などが集積する、研究開発能力の拠点となるものを「知的クラスター」と言います。文部科学省が推進している事業で、産官学が連携して活動することで「地域の活性化と産業振興につなげていこう」というのが大きな目標です。徳島県が知的クラスター創成事業の委託を受け、H15年頃から、徳島大学・徳島文理大学・徳島県立工業技術センターを中心として活動を進めてきています。

● 知的クラスターの取り組みとは?

徳島県の知的クラスター創成事業では、これまでの第1段階において、様々な内容の研究を行ってきました。現在進行中の第二段階においては、その成果を活用しつつ更なる発展を目指す中で徳島の抱える大きな問題である“糖尿病”の解決に貢献していくことになりました。糖尿病研究の推進と並行して、糖尿病に関する臨床サービスも大きく発展させようということになり、その部分で徳島大学病院が深く関わっているのです。

● 徳島大学病院の役割

徳島大学内に、研究部門と臨床部門が一体化して問題に取り組むことのできる、糖尿病に特化した「糖尿病臨床・研究開発センター」を設置し、本年度、本格始動する予定です。これと同時に、徳島大学病院に糖尿病外来を設置し、腎臓内科・神経内科・眼科などと連携して、多くの検査をスムーズに行うことができるようにすることで、適切な治療を早期に行える医療を提供できるようにします。また、県全体の糖尿病診療にも貢献すべく、他の医療機関と結ばれたネットワークの構築も進めています。これが進むことで、データを共有でき、糖尿病をいち早くキャッチし、糖尿病の治療中断、未治療の減少も可能になります。各地域の医療関係者、大学、行政、そして患者さんご自身に対しても、スムーズで綿密な医療・保健サービスの提供ができるようになるでしょう。

● 今後の目標

徳島県の糖尿病問題をなくすため、これらの活動をより活性化させ、ネットワークの構築とその効率運用に協力することで、“県民全体を対象とした糖尿病医療”が実現するよう、努力する所存です。またさらに徳島の糖尿病研究環境やネットワーク環境を活用し、海外在住の糖尿病の方々などにも関心をお持ちいただいて徳島を訪ねていただけるような高レベルの糖尿病医療の開発・提供につながれば、と思います。



徳島大学病院
糖尿病対策センター
センター長
船木真理 ふなき まこと
■問い合わせ先
糖尿病対策センター
Tel.088-633-9679